

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	肝細胞癌 Low dose FP療法（動注リザーバー）		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2013年1月1日
疾患名	肝細胞癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	2017年7月5日 坂田雅浩Dr.改訂	
診療科名	消化器内科					
登録医師名	寺尾 正子					
1クール期間	7日					
実施回数	/回					

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	day2	day3	day4	day5	day6	—	—	—	—	
2	リザーバー用100単位/mLリザーバー	1	本	動注	リザーバー		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3	生理食塩液	100	mL	動注	リザーバー		●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	アイエーコール用のメイン。シュアフューザーAとリザーバーのつなぎ目の三方活栓より投与。 ※day1～5まで開始から終了までECGモニターを装着すること
4	生理食塩液 動注用アイエーコール	100 10	mL mg	動注	リザーバー	60min	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	生食100mLの側管よりフィルターを通して投与。 フルオロウラシルを止めて投与。 (備考欄1参照)
5	生理食塩液	50	mL				●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	アイエーコール溶解用 (備考欄2参照)
6	生理食塩液 フルオロウラシル注 プロ・ヘパリン注 5000単位/5mL	40 1250 5	mL mg mL	動注	リザーバー	120h	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	シュアフューザーA 100mL（5日間用）を用いる。 1日あたり250mg、初日にポンプをセットし6日目の朝に抜針する。
7	リザーバー用100単位/mLリザーバー	1	本	動注	リザーバー		—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	
8																	

備考欄

1. アイエーコールとフルオロウラシルの同時投与は含量低下の可能性があるため不可

2. Day1にアイエーコール50mgを生理食塩液50mLで溶解し、Day1～5の生理食塩液100mLに10mLずつ分注する。Day2～5分は遮光袋をかぶせて薬剤部で投与日まで保管する。（室温、遮光保存：4週間安定）

減量・中止基準

血球減少/症状による。  
Day1-5を2週繰り返す、症状・血球の回復を待ち繰り返す。

文献